普及活動情勢報告（平成30年6月分）

高吾農業改良普及所

土着天敵を上手に使おう！タバコカスミカメ採集

天敵放飼を行っている様子

5月30日、6月13日、雨よけピーマンの生産者4戸が、土着天敵であるタバコカスミカメの採集を行いました。

須崎市多ノ郷のピーマンほ場を訪れ、吸虫管を使って1戸あたり1回200頭程度のタバコカスミカメを採集し、速やかに各自のピーマンほ場に植えている温存植物であるクレオメに放飼しました。

普及所は今後のタバコカスミカメの定着具合とアザミウマ類の発生状況を確認し、土着天敵利用技術の普及を支援します。

市場事故をなくそう！ニラ農家がＧＡＰに取り組み自己点検

自己点検を行う生産者

6月22日にＪＡコスモスニラ生産部は市場事故防止のため腐敗対策会議を開催し、生産者24戸が出席しました。ＪＡから高温時の出荷調製や品温管理について周知されました。普及所は国のガイドラインに沿ったニラ版チェックシートで生産者による自己点検を実施しました。

農家は「購入苗の場合はどうなる」「露地の場合は」と自分の栽培を振り返りながら確認していました。

普及所は、これからも産地や生産者のＧＡＰの取り組みを支援していきます。

オクラの目慣らし会が行われました

出荷規格を確認する生産者

6月15日にJAコスモスオクラ部会の目慣らし会が行われました。8戸の農家が参加し、出荷が始まったオクラの出荷規格や品質保持のための出荷ルールについて確認しました。

普及所からはオクラの高温期樹勢管理と防除について説明し、農家からは樹勢に応じた追肥の使い分けやチョウ目害虫の防除についての質問や栽培の実際についての意見交換がありました。

普及所では今後もオクラの安定生産と安心安全の確保を支援していきます。

高吾普及所、イチネン農園の高軒高施設で研修

イチネン農園視察

5月25日に高吾農業改良普及所の職員7名、中央西農振職員3名、計10名が、管内の次世代型施設である（株）イチネン農園の高軒高施設で研修会を行いました。案内はイチネン農園の山本氏に対応していただき、ミニトマト栽培を行っている施設内の環境制御装置や灌水装置、UV殺菌装置、ハンギングガターによる養液栽培など施設装備、先進的な施設による栽培について説明いただきました。

（株）イチネン農園では次作から面積拡大するため、普及所は引き続き栽培や養液分析など支援を行っていきます。

そぐりセンターのカイゼン！上手な作業を学ぼう	
 動画や写真でカイゼン指導	6月22日にJAコスモスニラそぐり・計量結束センターの作業員9人を対象に、作業員研修を行いました。 今回はそぐり機への投入作業にテーマを絞り、全員でベテラン作業員の動きを動画で確認しました。作業員は「無駄な動きがない」と感心していました。普及所が撮影したビデオからベテラン作業員の動きを分析し、それを写真で説明して、全ての作業員が理解しやすいように工夫しました。 今後も作業員の能力向上を図り、そぐりセンターの作業効率改善を目指していきます。